

当リリースにおいて紹介していますファンドの特色、リスク情報、手数料等その他の詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.nikkoam.com/products/fund/3bunhou/>

<http://www.nikkoam.com/app/productsFundinfoIndex.do?fundManageCd=452424>

<http://www.nikkoam.com/app/productsFundinfoIndex.do?fundManageCd=152528>

<http://www.nikkoam.com/products/fund/7eggs/index.html>

## ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

### 日興アセットマネジメント

#### 運用資産残高が 10 兆円を突破

[東京 2006 年 4 月 26 日] 日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO: ティモシー・マッカーシー、以下日興 AM)では、運用資産総額が 2006 年 3 月 31 日現在の速報値で約 10 兆 3,311 億円<sup>1</sup>となり、10 兆円を突破しました。これは、2004 年同月末から約 65%の増加となります。

このうち、預かり資産の大半を占める国内籍投資信託商品の資産残高合計は、7 兆 3,233 億円となりました。なかでも、公募投資信託の資産残高は、2005 年 3 月末から 2006 年 2 月末までの期間に 58.8%の増加を達成し、業界全体の伸び率 32.5%を大きく上回りました。<sup>2</sup>

日興 AM は 1959 年の設立以来、国内外投資家の皆様に広範な投資商品を提供してきました。2004 年にはティモシー・マッカーシー取締役会長兼 CEO、およびビル・ワイルダー取締役社長兼 CIO(最高投資責任者)が着任し、グローバルな視点に立った経営革新を推進しています。より多くの投資家の皆様に商品をお届けできるよう販路の拡充に努め、証券会社のみならず銀行を販売チャネルに加えた結果、日興 AM の商品は現在全国 100 行を超える銀行を通じて販売されています。

また、日興 AM は商品ラインアップの充実にも努めてきました。具体的には、不動産投信を他社に先駆けて組み入れ、リスク分散を図った「財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型」を運用しています。そのほか、世界で初めて人民元建て株式(中国 A 株)への直接投資を可能とした革新的な追加型株式投資信託「日興 AM 中国 A 株ファンド(愛称: 黄河)」や、国内系資産運用会社として初めて BRICs 諸国の株式への投資機会を提供することとなった「日興 BRICs 株式ファンド」など、数多くの商品を設定してきました。また、世界の 7 種の資産に投資する国際分散投資ファンド「GW7つの卵」も大変好評をいただいています。

日興 AM の取締役会長兼 CEO であるティモシー・マッカーシーは次のように述べています。「当社が運用するファンドを取り扱う販売会社ならびに投資家の皆様から頂いたご愛顧に感謝し、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。就任以来、運用資産残高 10 兆円をひとつの目標としてまいりました。当初の想定より早くこの目標を達成できたのも、日興 AM の社員一人ひとりの努力、ならびに皆様のご支援の賜物です。今後も、社員ともども更なる顧客サービスの充実、運用成績の向上に精進していく所存です」。

注 1 2006 年 3 月末現在の速報値

注 2 社団法人投資信託協会の公表データ